

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2019年 10～12月期の景況 / 2020年 1～3月期の見通し

宇部市内における中小企業の業況は、悪化傾向にある。

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATE参照)の景況動向等を把握するため、2019年10～12月期の実績と2020年1～3月期の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から13.3%の悪化となった。業種別では、建設業は0%から▲20.7%へ、小売業は▲10.0%から▲40.0%へと大幅に悪化、製造業は▲19.0%から▲29.4%へ、卸売業は▲9.1%から▲17.6%となった。サービス業のみ▲19.2%から▲16.7%へと僅かながら回復しているが、依然として全産業でマイナスという結果であった。

来期の新規設備投資については、今期よりも▲8.3%減少する見込みとなった。

経営上の問題点については、製造業以外の4業種で「従業員の確保難」(建設業は14期連続、卸売業は9期連続)が1位となった。さらに、建設業以外の4業種では「需要の停滞」が2期連続で3位以内を占めた。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

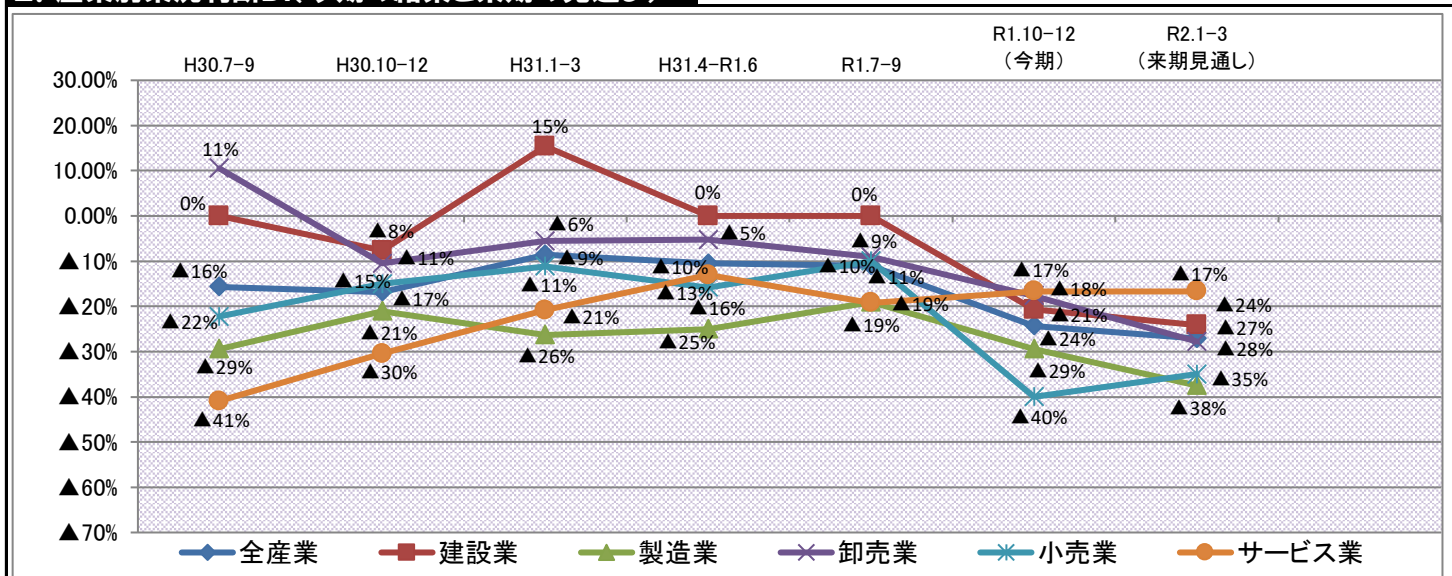
DATE

- 調査期間: 2019年12月13日～12月23日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業135社
- 有効回答企業数: 110社(81%)

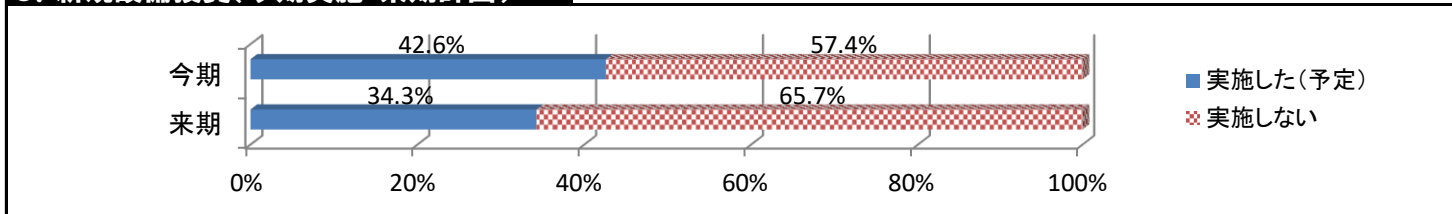
1. 業況DI値(今期の状況)

| | 業況 | 前回比 | 売上高 | 前回比 | 資金繰り | 前回比 | 経常利益 | 前回比 | 従業員数 | 前回比 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全産業 | ▲24.3% | ▲13.3% | ▲13.0% | ▲20.7% | ▲1.9% | 1.52% | ▲22.4% | ▲7.2% | ▲9.5% | ▲4.4% |
| 建設業 | ▲20.7% | ▲20.7% | ▲10.3% | ▲6.6% | 3.57% | 0.12% | ▲17.9% | ▲11.0% | ▲13.8% | ▲13.8% |
| 製造業 | ▲29.4% | ▲10.4% | 0.00% | 14.29% | 0.00% | 4.76% | ▲41.2% | ▲12.6% | 0.00% | 4.76% |
| 卸売業 | ▲17.6% | ▲8.6% | ▲33.3% | ▲28.8% | ▲5.6% | ▲19.2% | ▲16.7% | ▲3.0% | 11.11% | 2.02% |
| 小売業 | ▲40.0% | ▲30.0% | ▲15.0% | ▲30.0% | ▲20.0% | ▲15.0% | ▲20.0% | ▲20.0% | ▲22.2% | ▲5.6% |
| サービス業 | ▲16.7% | 2.56% | ▲8.3% | 18.59% | 8.33% | 31.41% | ▲20.8% | 6.09% | ▲16.7% | ▲1.3% |

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

| | 建設業 | | 製造業 | | 卸売業 | | 小売業 | | サービス業 | |
|----|-----------|-------|--------------|-------|--------------|-------|---------------|-------|---------------|-------|
| 1位 | 従業員の確保難 | 28.4% | 需要の停滞 | 18.4% | 従業員の確保難 | 18.8% | 従業員の確保難 | 14.8% | 従業員の確保難 | 18.3% |
| 2位 | 熟練技術者の確保難 | 20.5% | 従業員の確保難 | 14.3% | 需要の停滞 | 18.8% | 需要の停滞 | 14.8% | 人件費の増加 | 15.0% |
| 3位 | 下請業者の確保難 | 11.4% | 製品ニーズの変化への対応 | 10.2% | 販売単価の低下・上昇難 | 12.5% | 消費者ニーズの変化への対応 | 11.1% | 需要の停滞 | 11.7% |
| 4位 | 官公需要の停滞 | 10.2% | 生産設備の不足・老朽化 | 10.2% | 店舗・倉庫の狭隘・老朽化 | 10.4% | 仕入単価の上昇 | 11.1% | 利用者ニーズの変化への対応 | 11.7% |